

# 復興を祝う 大慈禅寺への想い

# 河陽新聞

熊本市南部地区市民の会  
発行責任者 村田幸博

## 歴史へのロマンを味わえる



寒巖義尹 禅師

大慈禅寺（だいじぜんじ）、正式には「大梁山 大慈寺」だそうです。今から 735年前、弘安5年（1282年）寒巖義尹 禅師によって開基された曹洞宗法皇派の本山、七堂伽藍を構え昔は百名もの修行僧で活気に溢れていました。

一昨年の熊本震災で大きな被害をうけ、この川尻校区の機関紙「河陽新聞 号外」で大きく写真で紹介し、大慈禅寺を知る多くの人に大きな反響をいただきました。

熊本大震災から一年半経過し、左写真のように復興に向け大掛かりな工事が進められています。そこで今回は、大慈禅寺がどのような歴史背景の中で、何を求めて建立されたのか、その歴史と夢とロマンを描いてみることにしました。



大慈禅寺の全てが寒巖（かんがん）禅師と重なり、師の生涯のテーマ「時世を救う」を、大慈禅寺もそのテーマを追い求めたことが歴史の中であらうか知れませんが。

寒巖禅師は1217年（鎌倉時代中期）後鳥羽天皇の皇子として京都でお生まれ、若くして曹洞宗の開祖・道元禅師を師と仰ぎ、中国、宋の時代に2回渡宋され、帰国後は3年ほど博多で暮らされ、中国では仏教だけでなく橋梁や干拓など文明の技術も日本へ持ち帰られてきました。

それら全てが歴史の中で活かされ、地域と大慈禅寺を結び社会の繁栄を築いてきました。当地へは、河尻泰明らの招きと援助で宇土市花園に如来寺を建てられ、1278年には九州一番の難所と呼ばれた緑川に大渡橋を（長さ150m・幅5m）2カ年かかって架けられ、その岬に建てられた大きな寺が大梁山（大きな橋）の大慈寺（杭州の風景に似た寺）と名付けられたそうです。



復興の進む 大慈禅寺の様子

寒巖禅師が中国の宋へ行かれたのは1243年（67年の期間に2回、当時ユーラシア大陸では、モンゴル帝国が勢力を拡張、宋も1279年モンゴル軍に征服され、中国の年号も「元」へ変わろうとする激動の時代。日本へも一回目の元寇「文永の役」1274年約4万の軍勢900軍船2回目の元寇は7年後の「弘安の役」1281年約15万人と4400軍船。このような時代の背景の中で九州一の難所に大渡橋が設けられ、竹崎季長らが「いざ鎌倉！」と玄海灘に駆けつける大きな時代でもありました。また、有明海を干拓しその風景が杭州銭塘江に由来し銭塘となりました。

**復興祈願**  
和菓子どのふれあい工房2018  
と き：1/27（土）28（日）  
とこ：大慈禅寺（境内全域）



復興の進む 大慈禅寺の様子

## 大慈禅寺の想いは「まじりとサーカス」



中村克一 前自治協議会会長



米満吉真 10町内自治会長



高濱 亨 川尻校区区協会会長

10町内（野田町）の3名の方に大慈禅寺への想いをお伺いしました。10町内は、緑川や加勢川に囲まれ独立した地域で、遊びも、誇りも、想い出も、全て大慈禅寺にあります。中でも、一番の想い出は、春の大慈禅寺まつり（3月）ですね。昔はサーカスも来ていたし、ガマの油菓売りや屋台も道の両側に並び、そりゃくたいがな賑わいがありました。

野田には添島先生という青少年の育成に熱心な方がおられ、夏の林間学校をはじめ、野球の練習から座禅まで全てが大慈禅寺で行われていました。一番の想い出は、同年代の修行僧が6名いて、托鉢もされましたが寺の中にも活気があり、

野球の練習も一緒にしようという想いがあります。3月15日〜17日の3日間なんども何度も大慈禅寺に出向き、牛の品評会を眺めたり、屋台の珍しか食べ物や味わったり、特に大慈禅寺まつりの最終日の植木市は、値引きや叩き売り、まとめ買いでたいがやな賑わいがありました。（2）回答感謝致します。）

## 川尻十日会 今年がありました

川尻校区では年間を通じて色々な儀式や催しが行われています。正月3日の「成人式」に始まり、年の最後には「川尻十日会忘年会」が行われ、今年も12月10日（日曜）に「いわ村」で行われました。今年で40回を超え開催



川尻十日会 会場の様子



6町内スタッフメンバー 藤永自治会長

編集後記

前号の河陽新聞は郷土の偉人木村政彦さんの特版で、至る所から追加の要望がありました。また、10月29日に川尻小学校体育館で木村政彦さんの本の著者増田俊也さんの講演会が行われました。当日披露された川尻商店街で売り出した「キムラロック焼酎」が、増田さんの応援もあり、ヤフーニュースで全国に流され、大ブレイクしているそうです。詳しくは、インターネットで「キムラロック焼酎ユーザーグループ」を検索してみてください。

熊本大震災の影響で町並みが一つひとつ無くなり、新たな「時世を救う」努力が必要なのようです。



無料入場

心の集い

河津世利六葉匠

春の陣

題字 書道家鶴寿

# お菓子 ふれあい 盆巻 大慈禪寺



無料シャトルバス  
運行致します。  
川尻駅⇨川尻商店街⇨大慈禪寺  
(けんたま前)

平成30年1月

27日(土) 10時～17時  
28日(日) 10時～16時

## 大慈禪寺

熊本市南区野田1丁目7-1

県内16店舗の  
有名菓子が集結!!

- お菓子の実演販売
- 工芸菓子展示
- 雑貨販売(28日のみ)
- 川尻校区婦人会
- 手作りおもてなし料理
- 雑貨販売(28日のみ)
- 緑日グルメ&キッチンカー

**お茶席**  
スイーツ片手にゆっくりお楽しみください。  
○大慈禪寺茶室 参加費500円  
27日 10:00～16:00 表千家玉真社中  
28日 10:00～15:00 肥後古流青年部  
※無くなり次第終了

**座禅体験**  
座禅体験と佐藤奉道方丈の特別講話。  
○大慈禪寺本堂 先着30名 参加費無料  
27日・28日 13:00～14:00

**大慈禪寺かわしり句会**  
新春の古寺で自由に吟行を楽しまれてください。  
○大慈禪寺本堂 見学自由  
27日 13時受付 13:30～16:00  
○各賞 大慈禪寺賞1名、六葉匠賞1名、選者賞2名

**ペン字教室**  
30分であなたの文字が劇的に変わる!  
○大慈禪寺本堂 先着30名 参加費500円  
28日 13時30分受付 14:00～15:00  
講師/金子絵里奈氏

**「木村政彦生誕百年」講演会**  
史上最強の柔道家の伝説。  
○大慈禪寺本堂 参加自由  
28日 11:00～12:30